2 開国

ペリーの来航

黒船 とよばれてた

1853年 アメリカの ペリー が 4せきの軍艦を率いて 浦賀（神奈川県）にやって来た。 そして 武力行使をほのめかして 開国を要求した。

アメリカの狙い
太平洋横断航路の中継地にするため日本を開国させたい

↳ 大統領からの国書をなかば無理矢理 幕府に手渡した。

幕府は 鎖国の方針にもとづき 拒否したが、ペリーの強い態度におされ、翌年回答することを約束した。

↓

翌1854年 ペリーは 7せきの大艦隊で 再び やって来た。
大名らの意見は開国に反対多数だったが、アメリカを恐れた幕府は「日米和親条約」を結んだ。

- 下田（静岡県）と 函館（北海道）の 2港を開港すること。
- アメリカ船に 食料・水・石炭などを供給すること。
- 下田（静岡県）に 領事をおくこと

1854年
一夜越し
1854
結んだ和親条約